

平成 27 年 3 月 2 日

～ 農林漁業 6 次産業化ファンド出資第 5 号 ～

『NCB九州 6 次化応援ファンド』「株式会社タケノフードサービス」への 出資決定

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、当行と株式会社 農林漁業成長産業化支援機構（本社：東京都 代表取締役 大多和 巖、以下「機構」）が出資を行い、当行連結子会社である株式会社 NCB リサーチ&コンサルティング（代表取締役社長 古賀 恭介、以下「R&C」）が運営する「NCB九州 6 次化応援投資事業有限責任組合」（略称：「NCB九州 6 次化応援ファンド」）を通じ、株式会社タケノフードサービス（本社：福岡市 代表取締役 竹野 孔）に対して、7,000 万円の出資を行うことを決定いたしました。

本件は、NCB九州 6 次化応援ファンドの第 5 号出資案件となります。

株式会社タケノフードサービスは、鶏卵と鶏肉の生産を行うタケノファーム株式会社（本社：福岡市 代表取締役 竹野 孔）と、飲食店の運営を行う株式会社タケノ（本社：福岡市 代表取締役 竹野 孔）が共同出資する企業です。

株式会社タケノフードサービスは、タケノファーム株式会社が生産する鶏卵「つまんでご卵」と鶏肉「あかね土鶏」をメイン食材として、鶏すきを中心とした鶏料理を提供する飲食店「鶏鮮竹乃屋」を福岡市中央区大名へ出店します。その他の食材として、地元農家が生産する牛肉、豚肉を使用したメニューを提供します。また、将来的には、水炊き缶詰といった加工品の製造販売も展開していく予定です。

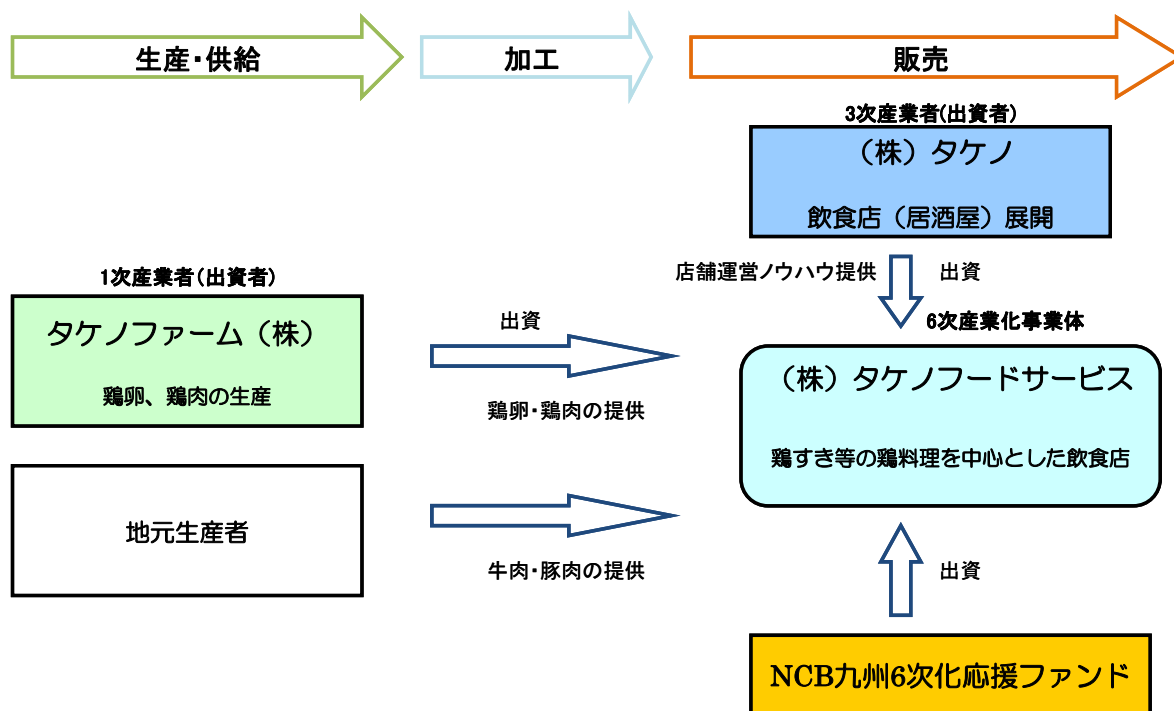
【出資決定のポイント】

- 肥育から出荷・肉処理まで一貫で生産した鶏肉・鶏卵を使用した、生産者の顔の見える安心・安全なメニューを提供することで、原材料の付加価値向上を図ること。
- 地元の農家が生産する牛肉、豚肉を使ったメニューを提供することで、地域農家全体の所得の向上に資すること。
- 将来的には、多店舗展開や加工食品の製造販売への展開等、今後の成長戦略が明確であること。

【投資先企業概要】

会社名	株式会社タケノフードサービス
本社所在地	福岡県福岡市博多区博多駅南四丁目 18-27
店舗所在地	福岡市中央区大名 2-9-5-1F
代表者	代表取締役 竹野 孔
事業内容	飲食店経営（鶏すき等の鶏料理をメインとした居酒屋）
投資額	70 百万円
資金使途	店舗内外装設備資金
資本金	140 百万円（投資後）

【事業スキーム図】



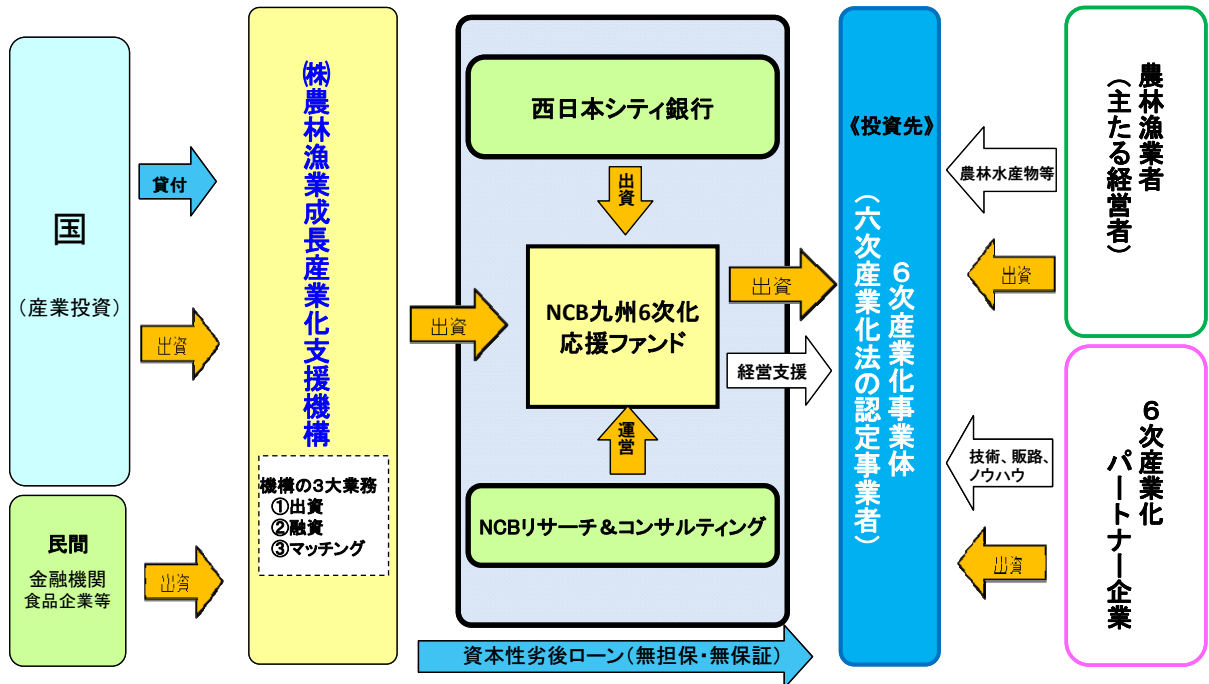
- 「NCB九州6次化応援ファンド」は、当行と機構の共同出資による、九州における1次産業事業者と2次・3次産業事業者との連携による新たな事業機会の創出、付加価値創造を目的としたファンドであり、当行と機構を有限責任組合員とし、R&Cが無限責任組合員となってファンドの運営・管理を行います。ファンド総額は20億円です。
- 当行は、地域金融機関としてこのファンドを通じて地域経済の発展に貢献するとともに、引き続き農林漁業分野への取り組みを積極的に行ってまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先
 法人ソリューション部 広川・渡辺 TEL092-476-2741

参 考 『NCB九州6次化応援ファンド』の概要

【ファンドスキーム図】



- ・当行と(株)農林漁業成長産業化支援機構が半々の出資でNCB九州6次化応援ファンドを設立。
- ・NCB九州6次化応援ファンドから農林漁業者とパートナー企業との合弁会社に対して出資を行う。

【ファンドの概要】

ファンド総額	20 億円
ファンド設立形態	投資事業有限責任組合
無限責任組合員	NCBリサーチ & コンサルティング http://www.johoza.co.jp/
有限責任組合員	農林漁業成長産業化支援機構 http://www.a-five-j.co.jp 西日本シティ銀行 http://www.ncbank.co.jp
投資対象	九州圏内(九州各県・山口県等)に主な拠点がある農林漁業事業者と商工業者との合弁企業体で、投資対象事業が生産から消費者までのバリューチェーンを創出する農林水産業の成長産業化にチャレンジする企業
主な投資形態	株式(普通株・種類株)
組合の存続期間	15 年